

平成23年度 学校基本調査結果の概要

平成23年5月1日現在で市内に所在する幼稚園・学校等を対象として実施した「学校基本調査（基幹統計調査）」のうち、「学校調査」と「卒業後の状況調査」の結果がまとまったので、その概況を公表する。

また、平成23年4月1日現在で市内に所在する保育所の概況（学校基本調査対象外）についても、併せて公表する。

調査の概要

1 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的としている。

2 調査の範囲

- (1) 学校調査……………幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校
大学、短期大学、専修学校及び各種学校
- (2) 卒業後の状況調査……中学校、高等学校、大学及び短期大学の卒業者

3 調査事項

(1) 学校調査

- 学校の名称、種別及び所在地
- 学校の特性に関する事項
- 学部、学科、課程又は学級に関する事項
- 教員及び職員の数
- 児童、生徒、学生又は幼児の在籍状況及び出席状況
- 児童、生徒、学生又は幼児の入学、卒業及び転出入の状況

(2) 卒業後の状況調査

- 学校の名称、種別及び所在地
- 学校の特性に関する事項
- 卒業者の卒業時における所属に関する事項
- 卒業者の進学、就職等の状況

4 調査の実施時期

- (1) 学校調査……………毎年5月1日現在
- (2) 卒業後の状況調査……前年度間の卒業者（高等学校、特別支援学校の高等部にあっては、前々年度以前の卒業者で上級の学校に入学を志願したものを含む。）について、毎年5月1日現在

5 利用上の注意

- (1) 学校（園）数には、休校（園）中の学校（園）（児童・生徒のいない校舎）を含む。
- (2) 小学校・中学校・高等学校の郊外校は市立計にも総数にも含まれない。
- (3) 入学志願者数において、同一人が2校以上に願書を提出し、2校以上に合格した場合は、実際に入学した学校の志願者、いずれも不合格の場合は、第1志願の学校の志願者として計上している。
- (4) 高等学校の国立は、大阪教育大学付属高等学校天王寺校舎、平野校舎及び池田校舎の総計である。
- (5) 大学の学校数については、大学本部の所在地での計上である。なお、学部数・学生数については在籍する学部、研究科等の所在地による。

6 用語解説

郊外校……………大阪市立学校のうち市外に所在するもの。

専修学校……………学校教育法第1条に規定する学校以外の教育施設で、職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行い、修業年限1年以上、授業時間数が文部科学大臣所定の時間数以上、教育を受けるものが常時40名以上であるもの。

高等課程……………中学校卒業若しくはそれと同等以上の学力があると認められることを入学資格とする課程。

専門課程……………高等学校卒業若しくはそれと同等以上の学力があると認められることを入学資格とする課程。

一般課程……………特に入学資格を定めない課程。

各種学校……………学校教育に類する教育を行う施設で、専修学校以外のもの。なお、本調査では国公立、及び府知事の認可を受けた私立の各種学校を対象としている。

特別支援学校……………特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする学校。

中等教育学校……………小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育並びに高等普通教育及び専門課程を一貫して施すことを目的とする学校。
修業年限は6年。課程は前期3年の前期課程及び後期3年の後期課程に区分される。中高一貫とは異なる。

職員……………小・中学校には「職員」として、校長、教頭、教諭、養護教諭及び事務職員を置かなければならないとしている（法第37条、第49条）。
本調査では上記の職員を「教員」と「職員」とに分けている。

教員……………初等中等教育では、校長（園長）、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師の名称を用いている。

長期欠席者数……………義務教育の学校（小・中学校及び特別支援学校の小学部、中学部）で、平成23年3月31日現在の在学者のうち、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間に、連続又は断続して30日以上欠席した者を、5月1日を基準に調査し計上している。

ただし、平成22年4月1日現在で15歳以上の者については、1年間にわたり居所不明又は全く出席しなかった者は除外している。

病気……………本人の心身の故障、けが等。

経済的理由……………家計が苦しくて教育費が出せない、児童・生徒が働いて家計を助けなければならない等。

不登校……………「病気」や「経済的理由」以外の何かしらの理由で、登校しない（できない）ことにより長期欠席した者

その他……………保護者の教育に関する考え方、無理解・無関心などの家庭の事情、外国での長期滞在等、理由が前記に該当しない者。

大阪市における学校の概況

1 学校調査（保育所含む）

幼稚園は204園、在園者数は前年度比0.8%増となり、9年ぶりに増加に転じた。
 保育所数は388所、児童数は前年度比2.3%増となり、保育所数、児童数ともに増加した。
 小学校は306校、児童数は前年度比2.1%減となり、5年連続で減少している。
 中学校は154校、生徒数は前年度比1.1%増となり、2年ぶりに増加に転じた。
 高等学校は94校、生徒数は全日制で前年度比1.1%増加したが、定時制は前年度比5.8%減少した。
 専修学校は165校、生徒数は前年度比0.4%減となった。
 各種学校は31校、前年度に比べて2校減少したが、生徒数は前年度比2.5%増となった。
 短期大学は8校、学生数は前年度比0.9%増とわずかに増加した。
 大学は11校で、学生数は前年度比0.6%減となり、前年度に引続き減少した。

2 卒業後の状況調査

中学校卒業者のうち、進学者は98.1%を占めている。
 高等学校卒業者のうち、進学者は56.7%、就職者は12.0%となっている。
 短期大学卒業者のうち、進学者は3.5%、就職者は76.1%となっている。
 大学卒業者（昼間<第1部>）のうち、進学者は12.5%、就職者は62.8%となっている。
 大学卒業者（夜間<第2部>）のうち、進学者は2.7%、就職者は58.8%となっている。

大阪市の学校(園)数、教員数及び生徒数等(平成23年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	学 校 (園) 数				教員数 (本務者)	生 徒 数 等		
	総数	国立	公立	私立		総数	男	女
幼 稚 園	204	1	60	143	1,913	28,979	14,597	14,382
小 学 校	306	2	297	7	7,159	123,200	62,946	60,254
中 学 校	154	2	128	24	4,545	67,551	33,921	33,630
高 等 学 校	94	1	56	37	5,466	79,250	39,379	39,871
中 等 教 育 学 校	1	-	-	1	53	814	516	298
特 別 支 援 学 校	13	1	12	-	1,379	2,450	1,486	964
専 修 学 校	165	-	2	163	2,784	53,614	25,417	28,197
各 種 学 校	31	-	1	30	236	6,596	4,360	2,236
短 期 大 学	8	-	-	8	254	4,254	165	4,089
大 学	11	-	1	10	1,505	27,918	19,353	8,565

大阪市の学校種別在学者数の推移(各年5月1日)

(単位:人)

年次	幼稚園 園児数	小学校 児童数	中学校 生徒数	全日制高校 生徒数	定時制高校 生徒数	専修学校	各種学校	短大 学生数	大学 学生数	
									うち大学院生	
平成8年	34,998	138,480	76,090	94,071	3,587	62,698	19,769	12,042	28,069	1,592
9年	34,472	134,572	75,727	90,063	3,716	65,443	15,536	11,265	26,532	1,560
10年	34,322	131,593	74,251	87,502	3,925	62,595	14,247	10,513	27,390	1,631
11年	33,822	129,076	72,744	87,178	4,132	63,469	12,795	9,260	26,811	1,728
12年	33,755	127,049	70,756	86,779	4,293	63,260	10,765	8,504	25,480	1,924
13年	33,206	126,153	69,925	85,118	4,269	64,940	9,873	7,704	25,707	1,994
14年	33,493	126,000	68,180	82,272	4,278	67,391	9,801	7,217	25,555	2,097
15年	33,396	126,549	66,694	79,122	4,214	71,483	9,464	6,850	26,154	2,319
16年	32,974	127,040	65,475	77,182	4,283	72,558	8,024	6,318	26,374	2,446
17年	32,463	128,204	65,478	74,695	4,550	73,095	7,020	5,988	26,801	2,770
18年	32,030	128,917	65,399	72,272	4,653	68,547	6,912	5,411	27,630	3,012
19年	31,441	128,241	66,035	70,587	4,800	63,233	6,647	4,888	27,977	3,012
20年	30,544	128,229	66,100	71,654	4,678	58,531	6,413	4,634	27,975	2,958
21年	29,518	127,264	66,882	72,453	4,873	54,876	6,310	4,290	28,126	2,958
22年	28,763	125,794	66,807	73,723	5,035	53,844	6,438	4,218	28,096	3,115
23年	28,979	123,200	67,551	74,507	4,743	53,614	6,596	4,254	27,918	3,096

大阪市の卒業者の卒業後の状況

(単位:人)

区 分	総数	進学者	構成比(%)	就職者	構成比(%)	その他	構成比(%)
中 学 校	21,839	21,424	98.1	56	0.3	359	1.6
高 等 学 校	24,352	13,806	56.7	2,930	12.0	7,616	31.3
短 期 大 学	1,823	64	3.5	1,387	76.1	372	20.4
大 学 (昼 間)	5,083	634	12.5	3,192	62.8	1,257	24.7
大 学 (夜 間)	371	10	2.7	218	58.8	143	38.5

学校調査

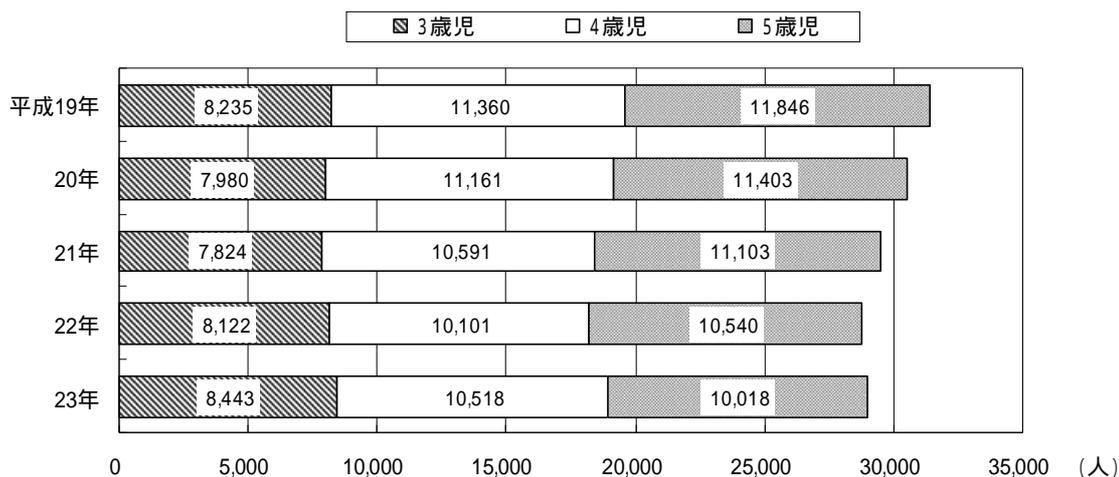
1 幼稚園

市内の幼稚園は前年度と同数の 204 園で、市立 60 園、国立 1 園、私立 143 園となっている。

在園者数は 2 万 8979 人で、前年度に比べ 216 人（前年度比 0.8%）増加した。

設置者別在園者数では、全体の 82.0%を占める私立が 2 万 3750 人で前年度に比べて 172 人（同 0.7%）増加し、市立は 5082 人で 46 人（同 0.9%）増、国立は 147 人で 2 人（同 1.3%）減少した。

幼稚園の年齢別在園者数の推移



年齢別在園者数

(単位: 人)

年度	総数	3歳児	4歳児	5歳児
平成19年	31,441	8,235	11,360	11,846
20年	30,544	7,980	11,161	11,403
21年	29,518	7,824	10,591	11,103
22年	28,763	8,122	10,101	10,540
23年	28,979	8,443	10,518	10,018

設置者別園数、在園者数

(単位: 園・人)

年度	総数		市立		国立		私立	
	園数	児童数	園数	児童数	園数	児童数	園数	児童数
平成19年	206(4)	31,441	60	5,326	1	159	145(4)	25,956
20年	206(4)	30,544	60	5,182	1	153	145(4)	25,209
21年	205(4)	29,518	60	5,126	1	147	144(4)	24,245
22年	204(6)	28,763	60(1)	5,036	1	149	143(5)	23,578
23年	204(6)	28,979	60(1)	5,082	1	147	143(5)	23,750

注()内はうち休園

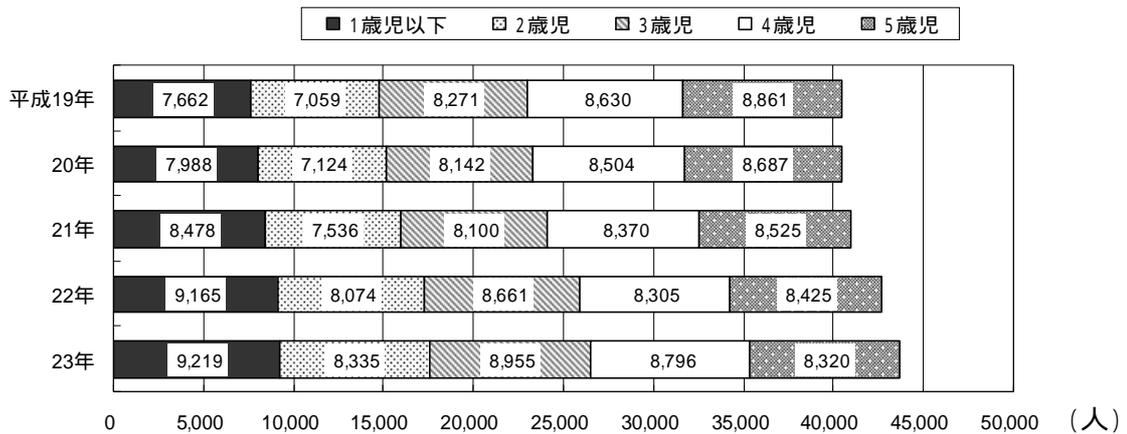
2 保育所（学校基本調査対象外）

市内の保育所は388所で、前年度に比べ4所増加した。設置者別でみると、公設公営が96所、公設民営が35所、私立は257所となっている。

保育所児童数は4万3625人で、前年度と比べ995人（前年度比2.3%）増加した。

年齢別の児童数は、1歳児以下が9219人で前年度と比べて54人（同0.6%）増となったのはじめ、2歳児は8335人で261人（同3.2%）増、3歳児は8955人で294人（同3.4%）増、4歳児は8796人で491人（同5.9%）増となったが、5歳児は8320人で105人（同1.2%）減となった。

保育所の年齢別児童数の推移



年齢別児童数

(単位: 人)

区分	総数	1歳児以下	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
平成19年	40,483	7,662	7,059	8,271	8,630	8,861
20年	40,445	7,988	7,124	8,142	8,504	8,687
21年	41,009	8,478	7,536	8,100	8,370	8,525
22年	42,630	9,165	8,074	8,661	8,305	8,425
23年	43,625	9,219	8,335	8,955	8,796	8,320

設置者別保育所数、児童数

(単位: 所・人)

年度	総数		公設公営		公設民営		私立	
	保育所数	児童数	保育所数	児童数	保育所数	児童数	保育所数	児童数
平成19年	351(3)	40,483	117(3)	11,029	16	1,825	218	27,629
20年	355(3)	40,445	114(3)	10,511	21	2,300	220	27,634
21年	363(2)	41,009	112(2)	10,372	21	2,314	230	28,323
22年	384(2)	42,630	104(2)	9,825	27	2,729	253	30,076
23年	388(4)	43,625	96(4)	8,765	35	3,710	257	31,150

注()内はうち休園

3 小学校

(1) 学校・児童数等

市内の小学校は前年度と同数の306校で、市立297校、国立2校、私立7校となっている。

児童数は12万3200人で、前年度に比べ2594人(前年度比2.1%)の減少となり、設置者別の児童数は、児童数の96.2%を占める市立が11万8492人で前年度に比べて2461人(同2.0%)減少した。

学級数は4727学級で、前年度に比べ39学級(クラス)減少した。1学級あたりの児童数は、市立25.8人、国立39.7人、私立33.8人となっている。

市立児童数を区別に前年度と比べると、福島区の3.0%(83人)増、中央区の2.5%(54人)増など5区で増加となった。一方、大正区の5.1%(184人)減、住之江区の4.5%(278人)減など19区で減少している。

小学校の年度別、設置者別学校数・学級数・教員数・児童数

(単位：校・学級・人)

年度	学 校 数				学 級 数				教 員 数				児 童 数			
	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立
平成19年	305	296	2	7	4,764	4,630	36	98	7,209	6,955	57	197	128,241	123,259	1,429	3,553
20年	306	297	2	7	4,788	4,654	36	98	7,275	7,012	58	205	128,229	123,281	1,426	3,522
21年	306	297	2	7	4,773	4,639	36	98	7,433	7,163	59	211	127,264	122,360	1,432	3,472
22年	306	297	2	7	4,766	4,633	36	97	7,489	7,213	58	218	125,794	120,953	1,429	3,412
23年	306	297	2	7	4,727	4,594	36	97	7,642	7,367	61	214	123,200	118,492	1,430	3,278

市立小学校の年度別、区別児童数

(単位：人・%)

区名	児 童 数					増 減 率			
	平成19年	20年	21年	22年	23年	19~20年	20~21年	21~22年	22~23年
総数	123,259	123,281	122,360	120,953	118,492	0.0	0.7	1.1	2.0
北	3,254	3,270	3,311	3,303	3,297	0.5	1.3	0.2	0.2
都島	4,613	4,573	4,547	4,517	4,509	0.9	0.6	0.7	0.2
福島	2,625	2,669	2,722	2,790	2,873	1.7	2.0	2.5	3.0
此花	3,269	3,250	3,138	3,138	3,066	0.6	3.4	0.0	2.3
中央	2,042	2,101	2,127	2,135	2,189	2.9	1.2	0.4	2.5
西	3,112	3,175	3,233	3,264	3,321	2.0	1.8	1.0	1.7
港	4,088	4,002	3,961	3,907	3,754	2.1	1.0	1.4	3.9
大正	3,710	3,652	3,645	3,597	3,413	1.6	0.2	1.3	5.1
天王寺	3,129	3,182	3,221	3,255	3,168	1.7	1.2	1.1	2.7
浪速	1,241	1,186	1,165	1,143	1,150	4.4	1.8	1.9	0.6
西淀川	5,333	5,477	5,524	5,625	5,572	2.7	0.9	1.8	0.9
淀川	7,094	7,142	7,140	7,106	7,029	0.7	0.0	0.5	1.1
東淀川	8,339	8,237	8,125	7,866	7,630	1.2	1.4	3.2	3.0
東成	3,612	3,693	3,746	3,754	3,712	2.2	1.4	0.2	1.1
生野	5,960	5,871	5,617	5,396	5,206	1.5	4.3	3.9	3.5
旭	4,378	4,362	4,314	4,210	4,080	0.4	1.1	2.4	3.1
城東	8,354	8,479	8,538	8,490	8,391	1.5	0.7	0.6	1.2
鶴見	6,828	6,961	6,947	6,997	7,017	1.9	0.2	0.7	0.3
阿倍野	5,273	5,300	5,333	5,363	5,253	0.5	0.6	0.6	2.1
住之江	6,838	6,618	6,342	6,140	5,862	3.2	4.2	3.2	4.5
住吉	7,866	7,746	7,649	7,428	7,201	1.5	1.3	2.9	3.1
東住吉	6,675	6,681	6,610	6,471	6,321	0.1	1.1	2.1	2.3
平野	11,986	11,993	11,786	11,554	11,088	0.1	1.7	2.0	4.0
西成	3,640	3,661	3,619	3,504	3,390	0.6	1.1	3.2	3.3

(2) 長期欠席児童・外国人児童数

長期欠席者数は1612人で児童数の1.3%、前年度と比べると5人(前年度比0.3%)の減少となっている。理由別にみると、病気が796人で全体の49.4%を占めている。

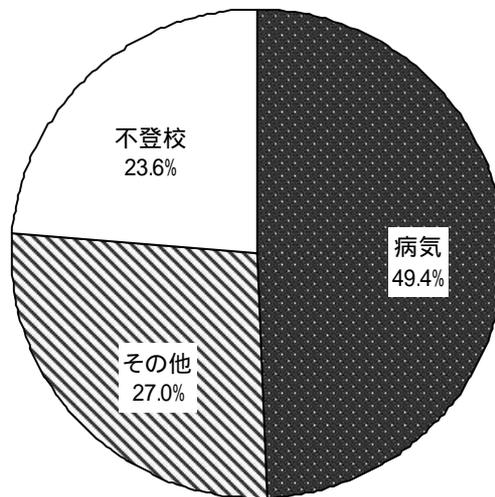
市内の小学校における外国人児童数は、2326人で前年度より98人(同4.0%)減少し、小学校児童数全体に占める割合は1.9%となっている。

年度別長期欠席者数内訳

(単位：人)

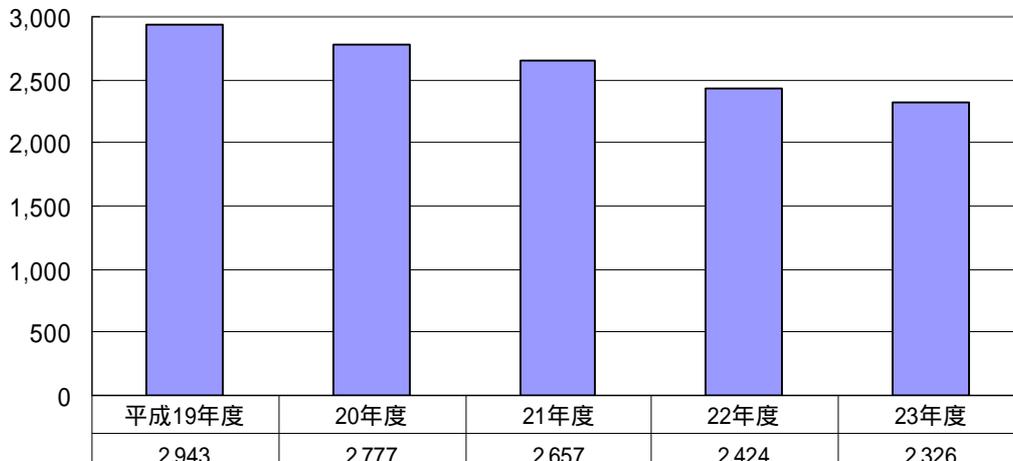
年度	総数	病気	不登校	その他
平成19年	1,847	953	375	519
20年	1,881	1,019	377	485
21年	1,766	932	362	472
22年	1,617	803	369	445
23年	1,612	796	381	435

平成23年度 理由別長期欠席者数内訳



(人)

外国人児童数



4 中学校

(1) 学校・生徒数等

市内の中学校は前年度と同様 154 校で、市立 128 校、国立 2 校、私立 24 校となっている。

生徒数は 6 万 7551 人で前年度と比べて 744 人（前年度比 1.1%）増加した。

設置者別生徒数では、市立が 5 万 6584 人で前年度と比べて 832 人（同 1.5%）増加しているが、私立は 84 人（同 0.8%）減少している。

学級数は 2195 学級で、前年度より 41 学級増加した。1 学級当たりの生徒数は 30.8 人で、前年度より 0.2 人減少した。

市立生徒数を区別に前年度と比べると、西区の 6.2%（78 人）増、西淀川区の 5.3%（118 人）増など 17 区で増加となった。一方、浪速区の 3.8%（21 人）減、生野区の 2.0%（57 人）減など 7 区で減少している。

中学校の年度別、設置者別学校数・学級数・教員数・生徒数

〔単位：校・学級・人〕

年 度	学 校 数				学 級 数				教 員 数				生 徒 数			
	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立
平成19年	150	127	2	21	2,072	1,793	21	258	4,653	3,706	83	864	66,035	55,315	837	9,883
20年	152	128	2	22	2,099	1,814	21	264	4,758	3,737	83	938	66,100	55,241	839	10,020
21年	153	128	2	23	2,140	1,846	21	273	4,888	3,849	84	955	66,882	55,788	839	10,255
22年	154	128	2	24	2,154	1,857	21	276	5,062	3,941	87	1,034	66,807	55,752	838	10,217
23年	154	128	2	24	2,195	1,895	21	279	5,248	4,088	85	1,075	67,551	56,584	834	10,133

市立中学校の年度別、区別生徒数

〔単位：人・%〕

区 名	生 徒 数					増 減 率			
	平成19年	20年	21年	22年	23年	19～20年	20～21年	21～22年	22～23年
総数	55,315	55,241	55,788	55,752	56,584	0.1	1.0	0.1	1.5
北	1,526	1,493	1,495	1,479	1,466	2.2	0.1	1.1	0.9
都島	2,032	1,997	2,073	2,083	2,082	1.7	3.8	0.5	0.0
福島	1,088	1,141	1,148	1,156	1,136	4.9	0.6	0.7	1.7
此花	1,486	1,574	1,605	1,670	1,669	5.9	2.0	4.0	0.1
中央	782	797	790	803	827	1.9	0.9	1.6	3.0
西	1,126	1,111	1,163	1,261	1,339	1.3	4.7	8.4	6.2
港	1,899	1,889	1,894	1,853	1,855	0.5	0.3	2.2	0.1
大正	1,646	1,705	1,688	1,750	1,744	3.6	1.0	3.7	0.3
天王寺	1,363	1,365	1,304	1,281	1,299	0.1	4.5	1.8	1.4
浪速	556	554	550	548	527	0.4	0.7	0.4	3.8
西淀川	2,148	2,159	2,235	2,238	2,356	0.5	3.5	0.1	5.3
淀川	3,161	3,124	3,217	3,211	3,302	1.2	3.0	0.2	2.8
東淀川	3,854	3,824	3,843	3,839	3,860	0.8	0.5	0.1	0.5
東成	1,551	1,537	1,579	1,527	1,568	0.9	2.7	3.3	2.7
生野	3,009	2,959	2,972	2,895	2,838	1.7	0.4	2.6	2.0
旭	2,002	2,022	2,047	2,069	2,118	1.0	1.2	1.1	2.4
城東	3,493	3,585	3,634	3,681	3,833	2.6	1.4	1.3	4.1
鶴見	2,998	2,958	3,029	3,048	3,116	1.3	2.4	0.6	2.2
阿倍野	2,327	2,262	2,277	2,242	2,297	2.8	0.7	1.5	2.5
住之江	3,256	3,207	3,220	3,200	3,225	1.5	0.4	0.6	0.8
住吉	3,682	3,650	3,624	3,626	3,636	0.9	0.7	0.1	0.3
東住吉	3,031	3,009	3,068	3,086	3,119	0.7	2.0	0.6	1.1
平野	5,455	5,510	5,557	5,478	5,636	1.0	0.9	1.4	2.9
西成	1,844	1,809	1,776	1,728	1,736	1.9	1.8	2.7	0.5

(2) 長期欠席生徒・外国人生徒数

長期欠席者は3588人で生徒数の5.3%、前年度と比べて85人(前年度比2.4%)の増加となった。理由別にみると、不登校が2449人で全体の68.3%を占めており、前年度と比べて41人(同1.7%)増加となった。

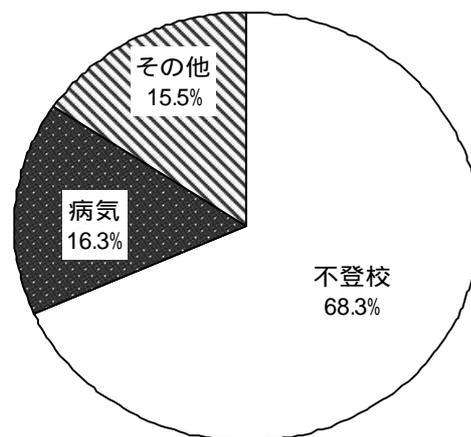
市内の中学校における外国人生徒数は、1702人で生徒数の2.5%を占め、前年度と比べ69人(同3.9%)減少し、減少が続いている。

年度別長期欠席者数内訳

(単位：人)

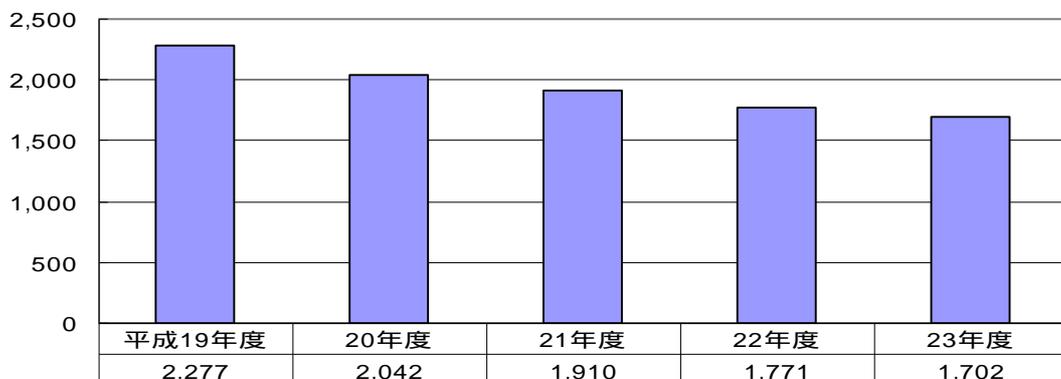
年度	総計	病気	不登校	その他
平成19年	4,285	935	2,579	771
20年	4,183	908	2,465	810
21年	3,850	832	2,455	563
22年	3,503	724	2,408	371
23年	3,588	584	2,449	555

平成23年度 理由別長期欠席者数内訳



外国人生徒数

(人)



5 高等学校

市内の高等学校は 94 校で、課程別の内訳は全日制課程のみ設置するもの 83 校、定時制課程のみ設置するもの 7 校、全日制課程と定時制課程を併設するもの 4 校である。

以下、全日制・定時制別について概観する。

(1) 全日制課程

全日制の課程を設置する高等学校は前年度に比べて 1 校増加し、市立 18 校、国立 1 校、府立 31 校、私立 37 校となっている。

生徒数は 7 万 4507 人で、前年度と比べ 784 人（前年度比 1.1%）増加した。学年別の生徒数は、1 学年及び 2 学年では前年度から増加したものの、3 学年では 532 人（同 2.3%）減少した。

設置者別に生徒数の比率をみると、国・公立は全体の 51.8%（3 万 8575 人）であり、私立は全体の 48.2%（3 万 5932 人）となっている。市立の生徒数の比率は前年度に比べて 0.6 ポイント低下したが、私立の生徒数は前年度に比べて 1.0 ポイント上昇した。

学科別では、普通科 615 人（前年度比 1.1%）増、その他の学科 308 人（同 3.4%）増となったが、工業科 76 人（同 1.1%）減、商業科 63 人（同 1.6%）減となっている。

教員数（本務者）は 4989 人で、前年度より 59 人増加した。

高等学校（全日制）の年度別、学校数・教員数・生徒数（男女別・学年別）
（単位：校・人）

年 度	学 校 数			教 員 数			生 徒 数			
	総数	本務者	兼務者	総数	男	女	1学年	2学年	3学年	
平成19年	87	4,844	1,779	70,587	35,081	35,506	25,425	22,952	22,210	
20年	88	4,898	1,917	71,654	35,675	35,979	26,380	23,541	21,733	
21年	88	4,902	2,056	72,453	35,963	36,490	25,462	24,586	22,405	
22年	86	4,930	1,900	73,723	36,374	37,349	26,124	23,992	23,607	
23年	87	4,989	1,915	74,507	36,671	37,836	26,902	24,530	23,075	

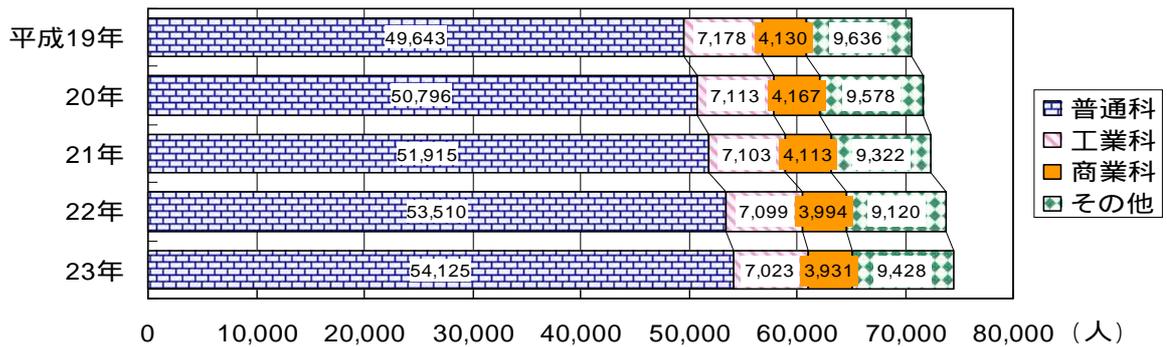
高等学校（全日制）の設置者別学校数、生徒数

（単位：校・人・%）

年度	総数		市立		国立		府立		私立	
	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数
平成19年	87	70,587 (100.0)	19	12,899 (18.3)	1	1,346 (1.9)	30	22,852 (32.4)	37	33,490 (47.4)
20年	88	71,654 (100.0)	20	12,837 (17.9)	1	1,351 (1.9)	30	23,227 (32.4)	37	34,239 (47.8)
21年	88	72,453 (100.0)	20	12,725 (17.6)	1	1,341 (1.9)	30	23,904 (33.0)	37	34,483 (47.6)
22年	86	73,723 (100.0)	18	12,424 (16.9)	1	1,346 (1.8)	30	25,164 (34.1)	37	34,789 (47.2)
23年	87	74,507 (100.0)	18	12,141 (16.3)	1	1,336 (1.8)	31	25,098 (33.7)	37	35,932 (48.2)

注（ ）内は構成比（%）を示す。

高等学校(全日制)の学科別生徒数の推移



(2) 定時制課程

定時制課程を設置する高等学校は前年度と同数の11校で、市立3校、府立7校、私立1校となっている。

生徒数は4743人で、前年度と比べて292人(前年度比5.8%)減となった。学年別では、1学年及び2学年では前年度から減少したものの、3学年及び4学年では増加した。

学科別の生徒数は、普通科、工業科、商業科及び総合学科のすべての学科で減少した。

教員数(本務者)は477人で、前年度より7人減少した。

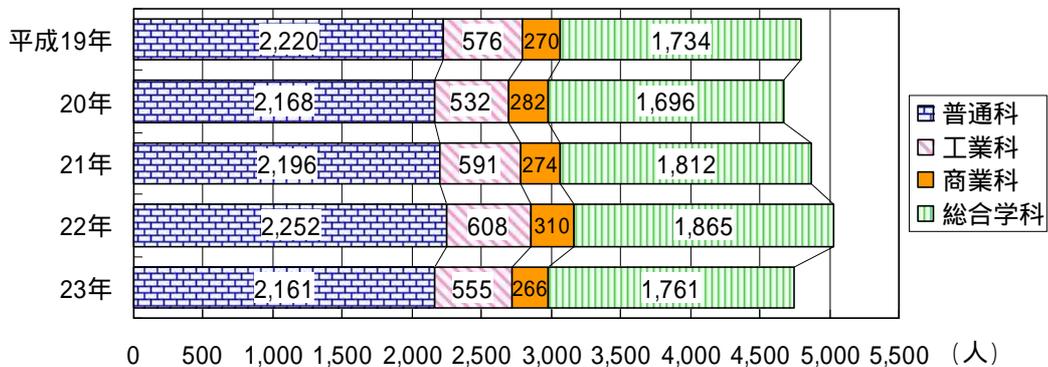
高等学校(定時制)の年度別学校数・教員数・生徒数(男女別・学年別)

(単位:校・人)

年度	学 校 数		教 員 数		生 徒 数						
	独立校	併置校	本務者	兼務者	総数	男	女	1学年	2学年	3学年	4学年
平成19年	12(-)	6(1)	539	311	4,800	2,795	2,005	1,652	1,399	1,226	523
20年	7(-)	5(1)	494	233	4,678	2,663	2,015	1,659	1,393	1,150	476
21年	7(-)	4(1)	494	219	4,873	2,821	2,052	1,826	1,405	1,158	484
22年	7(-)	4(1)	484	237	5,035	2,883	2,152	1,797	1,548	1,191	499
23年	7(-)	4(1)	477	243	4,743	2,708	2,035	1,381	1,498	1,334	530

注()内はうち休校。

高等学校(定時制)の学科別生徒数の推移



6 専修学校

市内の専修学校は前年度と同数の 165 校で、設置者別にみると、市立 2 校、私立 163 校となっている。

私立の学校数を区別にみると北区 44 校、天王寺区 22 校、淀川区 19 校、中央区 13 校と、交通のターミナルを抱えるこの 4 区に計 98 校が所在し、全体の 59.4% を占めている。

生徒数は 5 万 3614 人で前年度と比べ 230 人(前年度比 0.4%)の減少となっている。

課程別の生徒数は、全体の 94.2% を占める専門課程が 5 万 508 人で前年度から 312 人(同 0.6%)減少し、一般課程でも 63 人(同 8.7%)減少したが、高等課程では 145 人(同 6.3%)の増加となった。

分野別の生徒数は、文化教養関係 1 万 4255 人、医療関係 1 万 3603 人、衛生関係 8509 人の順に多い。

教員数(本務者)は 9115 人で、前年度に比べて 148 人減少した。

専修学校の年度別学校数・教員数・生徒数(男女別・課程別)

(単位：校・人)

年 度	学校数	教員数	生 徒 数					
			総数	男	女	高等課程	専門課程	一般課程
平成19年	168 (9)	9,286	63,233	30,603	32,630	2,379	59,821	1,033
20年	170 (7)	9,783	58,531	28,030	30,501	2,370	55,171	990
21年	167 (5)	9,239	54,876	26,044	28,832	2,291	51,713	872
22年	165 (5)	9,263	53,844	25,816	28,028	2,296	50,820	728
23年	165 (4)	9,115	53,614	25,417	28,197	2,441	50,508	665

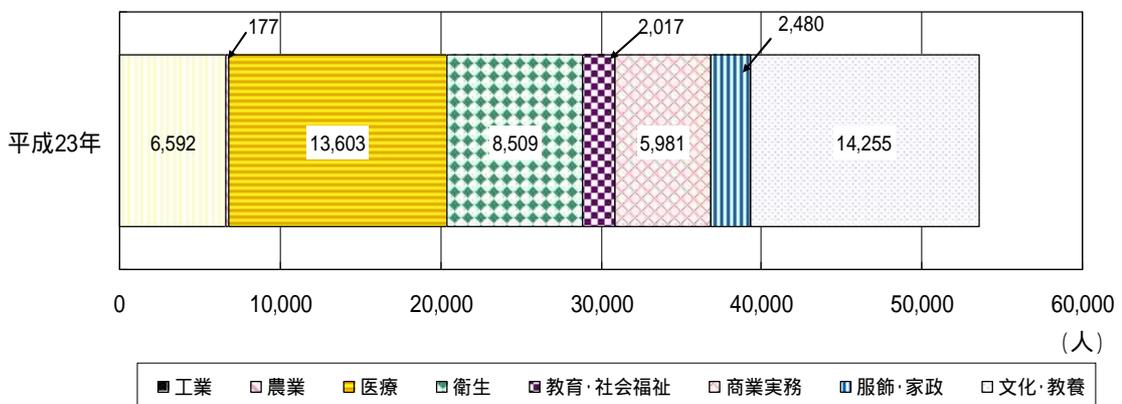
注()内はうち休校

分野別生徒数

(単位：人)

年度	総数	工業	農業	医療	衛生	教育・社会福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養
平成22年	53,844	6,596	189	13,809	8,508	1,810	6,365	2,511	14,056
23年	53,614	6,592	177	13,603	8,509	2,017	5,981	2,480	14,255

分野別生徒数の割合



7 各種学校

市内の各種学校数は31校で、前年度に比べ2校減少して、市立1校、私立30校となっている。

生徒数は6596人で、前年度に比べ158人（前年度比2.5%）増加した。男女別にみると、男子が4360人（全体の66.1%）、女子が2236人（同33.9%）となっている。

分野別の生徒数は、その他5840人、文化教養308人、商業実務277人の順に多い。その他の内訳を見ると、予備校4545人、外国人学校1295人となっている。

教員数（本務者）は570人で、前年度に比べて31人減少した。

各種学校の年度別学校数・教員数・男女別生徒数
（単位：校・人）

年度	学校数	教員数	生徒数		
			総数	男	女
平成19年	38(8)	638	6,647	4,312	2,335
20年	37(8)	643	6,413	4,194	2,219
21年	34(4)	656	6,310	4,087	2,223
22年	33(4)	601	6,438	4,289	2,149
23年	31(3)	570	6,596	4,360	2,236

注（ ）内はうち休校

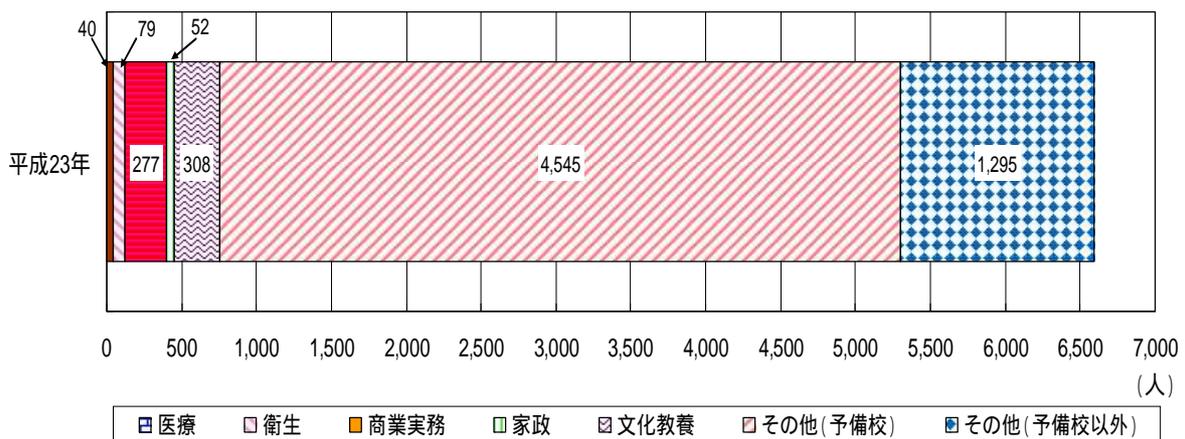
分野別生徒数

（単位：人）

年度	総計	医療	衛生	商業実務	家政	文化教養	その他	うち予備校
平成22年	6,438	78	80	307	16	319	5,638	4,302
23年	6,596	40	79	277	52	308	5,840	4,545

注 その他は、予備校、外国人学校

分野別生徒数の割合



8 短期大学

市内に所在する短期大学は前年度と同数で、8校となっている。

学生数は4254人で、前年度に比べ36人（前年度比0.9%）増加した。

昼間 第1部 の学生数は、4097人で前年度に比べ18人（同0.4%）増加した。

昼間 第1部 学科別の学生数を前年度と比べると、「保健」では79人（同60.8%）増、「教育」で108人（同5.4%）増、「家政」で9人（同1.3%）増などとなっている。

なお、夜間 第2部 の学科は、平成19年度から「教育」のみとなっている。

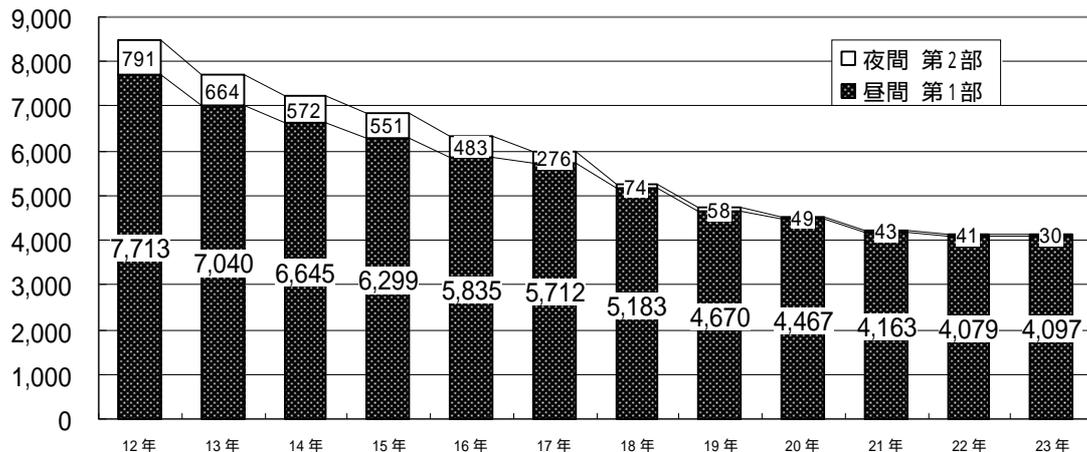
短期大学の年度別、学校数・教員数・学生数

（単位：校・人）

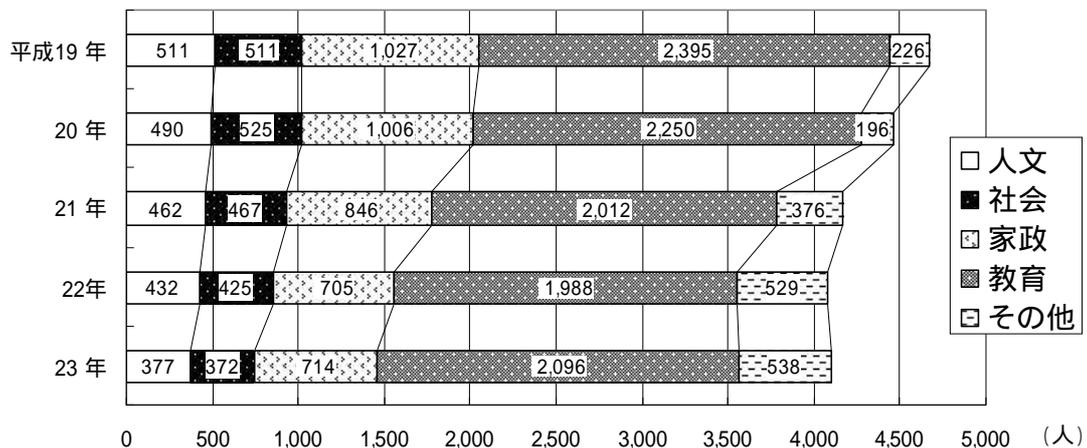
年 度	学校数	教 員 数			総数	学生数			夜間（第2部）			専攻科	別科 その他
	総数	総数	男	女		総数	男	女	総数	男	女		
平成19年	9	1,007	511	496	4,888	4,670	170	4,500	58	-	58	65	95
20年	9	881	446	435	4,634	4,467	150	4,317	49	-	49	30	88
21年	8	916	460	456	4,290	4,163	130	4,033	43	-	43	23	61
22年	8	917	465	452	4,218	4,079	126	3,953	41	-	41	19	79
23年	8	896	444	452	4,254	4,097	128	3,969	30	-	30	16	111

（人）

短期大学 昼間・夜間別学生数の推移



短期大学 昼間 第1部 学科別学生数の推移



9 大学

市内に所在する大学は前年度と同数で、11校となっている。

昼間 第1部 の学生数は2万2733人で、前年度に比べて179人(前年度比0.8%)増加した。一方、夜間 第2部 の学生数は1493人で前年度と比べて360人(同19.4%)減少した。

学生数のうち学部学生は2万4226人(構成比86.8%)、大学院生は3096人(同11.1%)、専攻科・別科等の学生は596人(同2.1%)となっており、学部学生は前年度に比べ181人減少している。また、大学院の学生も前年度に比べ19人減少した。

学科別の学生数を前年度と比べると、増加した学科は、「保健」で474人(前年度比32.6%)増、「理学」で18人(同2.6%)増などとなっており、減少した学科は「社会科学」で346人(同3.2%)減、「人文科学」で197人(同10.0%)減などとなっている。

大学の年度別、設置者別学校数・教員数・学生数

(単位：校・学級・人)

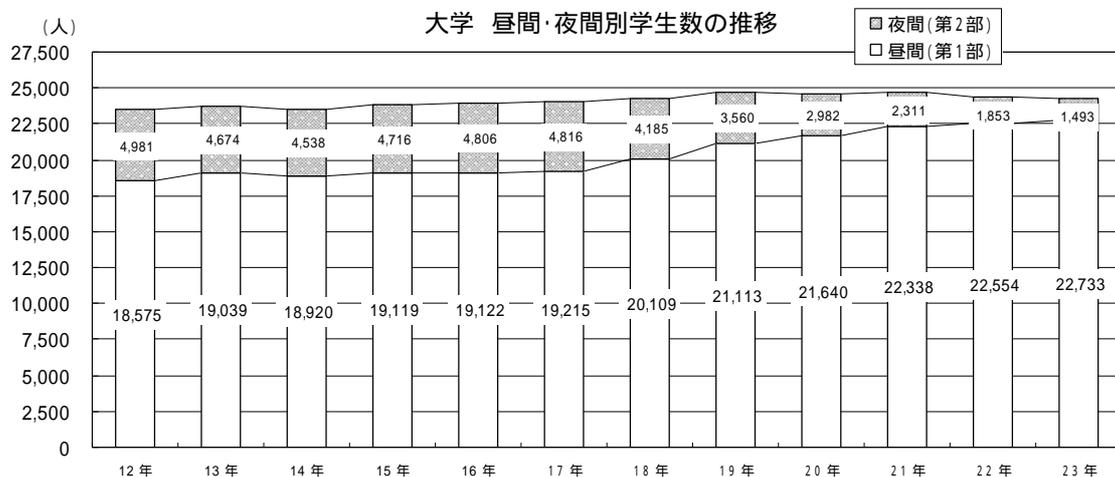
年 度	学 校 数				教 員 数				学生数 昼間(第1部)				学生数 夜間(第2部)			
	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立	総数	市立	国立	私立
平成19年	10	1	-	9	3,529	1,514	-	2,015	21,113	6,199	-	14,914	3,560	1,059	389	2,112
20年	10	1	-	9	3,710	1,523	-	2,187	21,640	6,292	-	15,348	2,982	988	382	1,612
21年	11	1	-	10	3,755	1,532	-	2,223	22,338	6,336	-	16,002	2,311	791	383	1,137
22年	11	1	-	10	3,907	1,549	-	2,358	22,554	6,366	-	16,188	1,853	587	377	889
23年	11	1	-	10	3,862	1,582	-	2,280	22,733	6,407	-	16,326	1,493	408	379	706

注 「学生数」については、大阪市内に学部・研究科のみを置く5校を含む。

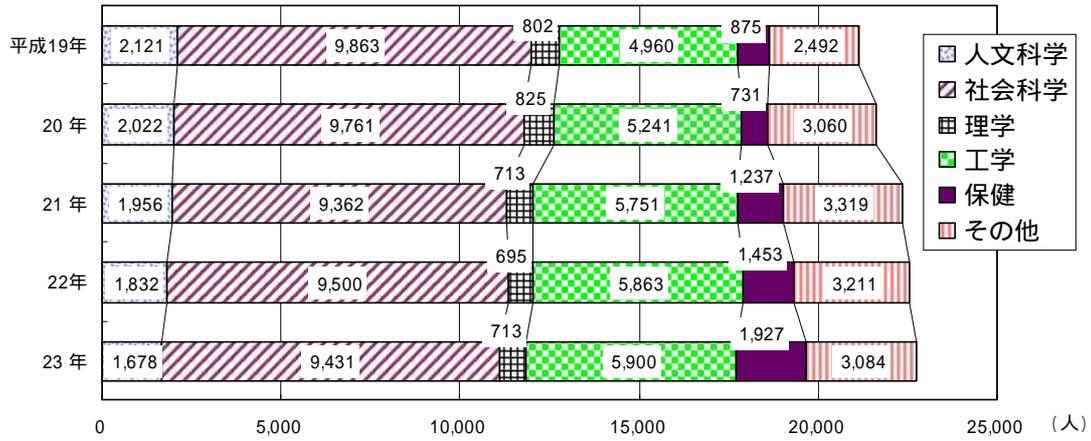
大学学生数の推移

(単位：人)

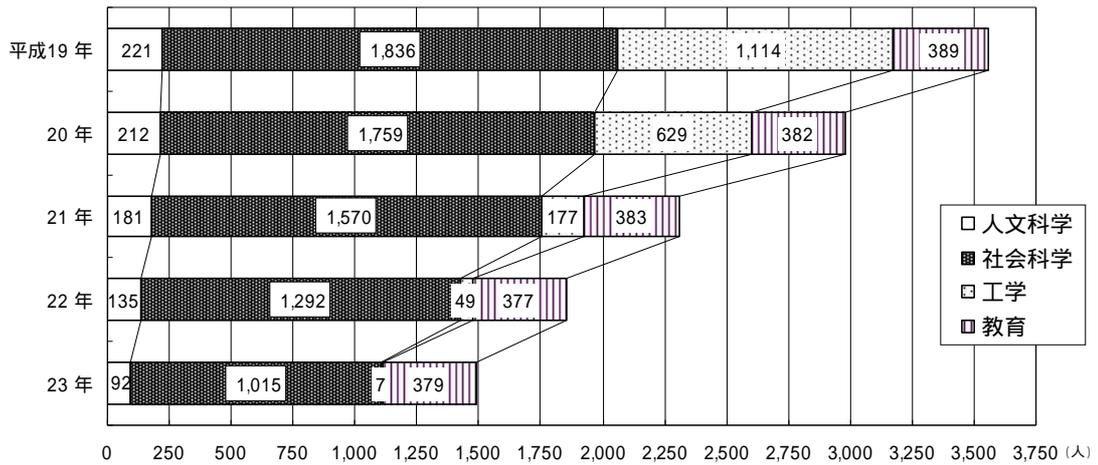
年 度	学生数 総数	学部学生	大学院生	専攻科・別科 その他
平成19年	27,977	24,673	3,012	292
20年	27,975	24,622	2,958	395
21年	28,126	24,649	2,958	519
22年	28,096	24,407	3,115	574
23年	27,918	24,226	3,096	596



大学 昼間 第1部 学科別学生数の推移



大学 夜間 第2部 学科別学生数の推移



卒業後の状況調査

1 中学校

平成23年3月における市内中学校の卒業生数は2万1839人で、前年に比べ650人（前年比2.9%）減少した。

進学者（就職して進学した者を含む）は、2万1424人で卒業生数の98.1%を占め、そのうち全日制高等学校への進学者は2万242人で、進学者の94.5%を占めている。

専修学校等入学者（就職してこれらに入学した者を含む）は126人（卒業生数の0.6%）で、前年度より11人減少した。

就職者は56人（卒業生数の0.3%）で、前年度より41人減少した。就職率は0.1ポイント低下し、0.3%となった。

中学校卒業生の年次別卒業後の状況

（単位：人・%）

区分	総数	進学者	専修学校等入学者		公共職業 能力開発施設 等入学者	就職者	左記以外の者	死亡・不詳の者
			専修学校	各種学校				
平成19年	21,758 (100.0)	21,158 (97.2)	50 (0.2)	12 (0.1)	14 (0.1)	183 (0.8)	339 (1.6)	2 (0.0)
20年	21,721 (100.0)	21,157 (97.4)	57 (0.3)	29 (0.1)	9 (0.0)	165 (0.8)	300 (1.4)	4 (0.0)
21年	21,461 (100.0)	20,854 (97.2)	56 (0.3)	25 (0.1)	14 (0.1)	163 (0.8)	344 (1.6)	5 (0.0)
22年	22,489 (100.0)	21,954 (97.6)	108 (0.5)	29 (0.1)	13 (0.1)	97 (0.4)	286 (1.3)	2 (0.0)
23年	21,839 (100.0)	21,424 (98.1)	111 (0.5)	15 (0.1)	10 (0.0)	56 (0.3)	220 (1.0)	3 (0.0)
男	11,030 (100.0)	10,831 (98.2)	54 (0.5)	7 (0.1)	10 (0.1)	44 (0.4)	82 (0.7)	2 (0.0)
女	10,809 (100.0)	10,593 (98.0)	57 (0.5)	8 (0.1)	- (-)	12 (0.1)	138 (1.3)	1 (0.0)

- 注 1 ()内は構成比(%)を示す。
 2 「進学者」は就職して進学した者を含む。
 3 「専修学校等入学者」は就職して入学した者を含む。
 4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「外国の高等学校に入学した者」、「左記に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者」の合計数である。

2 高等学校

平成 23 年 3 月における市内高等学校の卒業生数は 2 万 4352 人で、前年に比べ 1142 人（前年比 4.9%）増加した。

これを課程別にみると、全日制が 2 万 3377 人で、卒業生数の 96.0% を占め、定時制が 975 人（卒業生数の 4.0%）となっている。

進路別にみると、進学者は 1 万 3806 人で、卒業生数の 56.7% を占め、専修学校等入学者が 5033 人（同 20.7%）、就職者が 2930 人（同 12.0%）などとなっている。

高等学校卒業生の年次別卒業後の状況

（単位：人・%）

区分	卒業生数			進路別							
	総数	全日制	定時制	進学者	専修学校等入学者		公共職業能力開発施設等入学者	就職者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
					専修学校	各種学校					
平成19年	24,601 (100.0)	23,648 (96.1)	953 (3.9)	13,058 (53.1)	3,175 (12.9)	2,211 (9.0)	36 (0.1)	3,666 (14.9)	764 (3.1)	1,530 (6.2)	161 (0.7)
20年	22,974 (100.0)	22,039 (95.9)	935 (4.1)	12,544 (54.6)	2,790 (12.1)	2,020 (8.8)	40 (0.2)	3,393 (14.8)	594 (2.6)	1,593 (6.9)	- (-)
21年	22,495 (100.0)	21,690 (96.4)	805 (3.6)	12,383 (55.0)	2,750 (12.2)	1,697 (7.5)	36 (0.2)	3,163 (14.1)	609 (2.7)	1,854 (8.2)	3 (0.0)
22年	23,210 (100.0)	22,221 (95.7)	989 (4.3)	13,178 (56.8)	2,766 (11.9)	1,675 (7.2)	40 (0.2)	2,972 (12.8)	663 (2.9)	1,914 (8.2)	2 (0.0)
23年	24,352 (100.0)	23,377 (96.0)	975 (4.0)	13,806 (56.7)	3,254 (13.4)	1,779 (7.3)	56 (0.2)	2,930 (12.0)	622 (2.6)	1,868 (7.7)	37 (0.2)
男	12,142 (100.0)	11,585 (95.4)	557 (4.6)	6,601 (54.4)	1,267 (10.4)	1,134 (9.3)	34 (0.3)	1,791 (14.8)	218 (1.8)	1,073 (8.8)	24 (0.2)
女	12,210 (100.0)	11,792 (96.6)	418 (3.4)	7,205 (59.0)	1,987 (16.3)	645 (5.3)	22 (0.2)	1,139 (9.3)	404 (3.3)	795 (6.5)	13 (0.1)

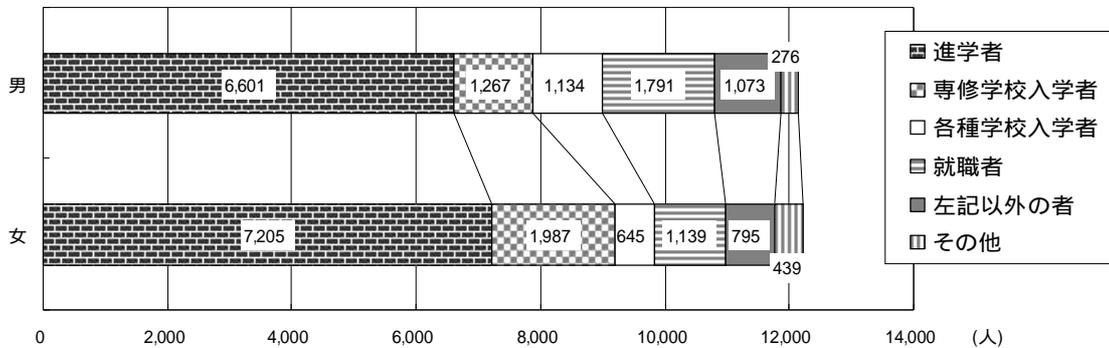
注 1 ()内は構成比(%)を示す。

2 「進学者」は就職して進学した者を含む。

3 「専修学校等入学者」は就職して入学した者を含む。

4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「外国の大学等に入学した者」、「左記に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者」の合計数である。

高等学校卒業生の男女別卒業後の状況



(1) 全日制高等学校

平成23年3月の卒業者数は2万3377人で、前年に比べ1156人(5.2%)増加した。

進学者(就職進学者を含む)は1万3623人(卒業者数の58.3%)で、前年度に比べ637人増加した。

卒業者の大学(学部)・短期大学(本科)への入学志願状況をみると、志願者数は1万6431人で卒業者数の70.3%となり、大学へは男子8259人、女子6715人、計1万4974人が志願している。このうち、実際に進学した者(就職進学者を含む)の内訳をみると、大学への進学は1万2183人(大学志願者の81.4%)、短期大学へは1426人(短期大学志願者の97.9%)となっている。

専修学校等入学者は4875人(卒業者数の20.9%)で、前年度に比べ590人増加した。

就職者(就職進学者・専修学校等入学者等を除く)は2672人(卒業者数の11.4%)で、前年度に比べ24人減少した。

就職者数(就職進学者、専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者を含む)2674人の職業別・産業別構成をみると、職業別では「生産工程従事者」が893人(就職者数の33.4%)と最も多く、産業別では「製造業」が993人(同37.1%)と最も多い。

全日制高等学校卒業者の年次別卒業後の状況

(単位:人・%)

区分	総数	進学者	専修学校等入学者		公共職業 能力開発施設 等入学者	就職者	一時的な 仕事に ついた者	左記以外の者	死亡・ 不詳の者
			専修学校	各種学校					
平成19年	23,648 (100.0)	12,943 (54.7)	3,071 (13.0)	2,204 (9.3)	35 (0.1)	3,494 (14.8)	566 (2.4)	1,332 (5.6)	3 (0.0)
20年	22,039 (100.0)	12,394 (56.2)	2,662 (12.1)	2,003 (9.1)	31 (0.1)	3,133 (14.2)	408 (1.9)	1,408 (6.4)	- (-)
21年	21,690 (100.0)	12,248 (56.5)	2,635 (12.1)	1,690 (7.8)	34 (0.2)	2,938 (13.5)	428 (2.0)	1,714 (7.9)	3 (0.0)
22年	22,221 (100.0)	12,986 (58.4)	2,615 (11.8)	1,670 (7.5)	33 (0.1)	2,696 (12.1)	477 (2.1)	3,020 (13.6)	2 (0.0)
23年	23,377 (100.0)	13,623 (58.3)	3,096 (13.2)	1,779 (7.6)	51 (0.2)	2,672 (11.4)	412 (1.8)	1,711 (7.3)	33 (0.1)
男	11,585 (100.0)	6,507 (56.2)	1,181 (10.2)	1,134 (9.8)	31 (0.3)	1,611 (13.9)	108 (0.9)	992 (8.6)	21 (0.2)
女	11,792 (100.0)	7,116 (60.3)	1,915 (16.2)	645 (5.5)	20 (0.2)	1,061 (9.0)	304 (2.6)	719 (6.1)	12 (0.1)

- 注 1 ()内は構成比(%)を示す。
 2 「進学者」は就職して進学した者を含む。
 3 「専修学校等入学者」は就職して入学した者を含む。
 4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「外国の大学等に入学した者」、「左記に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者」の合計数である。

年次別入学志願者・進学者数(全日制高等学校から大学・短期大学本科へ)

(単位:人)

区 分	総 数			大 学 (学 部)			短 期 大 学 (本 科)			
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	
平成19年	入学志願者	16,128	8,440	7,688	14,303	8,225	6,078	1,987	215	1,610
	進 学 者	12,933	6,278	6,655	11,159	6,076	5,083	1,774	202	1,572
20年	入学志願者	15,302	7,830	7,472	13,665	7,660	6,005	1,637	170	1,467
	進 学 者	12,375	5,852	6,523	10,755	5,690	5,065	1,620	162	1,458
21年	入学志願者	14,991	7,570	7,421	13,443	7,424	6,019	1,548	146	1,402
	進 学 者	12,225	5,750	6,475	10,709	5,614	5,095	1,516	136	1,380
22年	入学志願者	15,613	7,960	7,653	14,156	7,812	6,344	1,457	148	1,309
	進 学 者	12,917	6,228	6,758	11,489	6,056	5,433	1,428	144	1,284
23年	入学志願者	16,431	8,411	8,020	14,974	8,259	6,715	1,457	152	1,305
	進 学 者	13,609	6,497	7,112	12,183	6,351	5,832	1,426	146	1,280

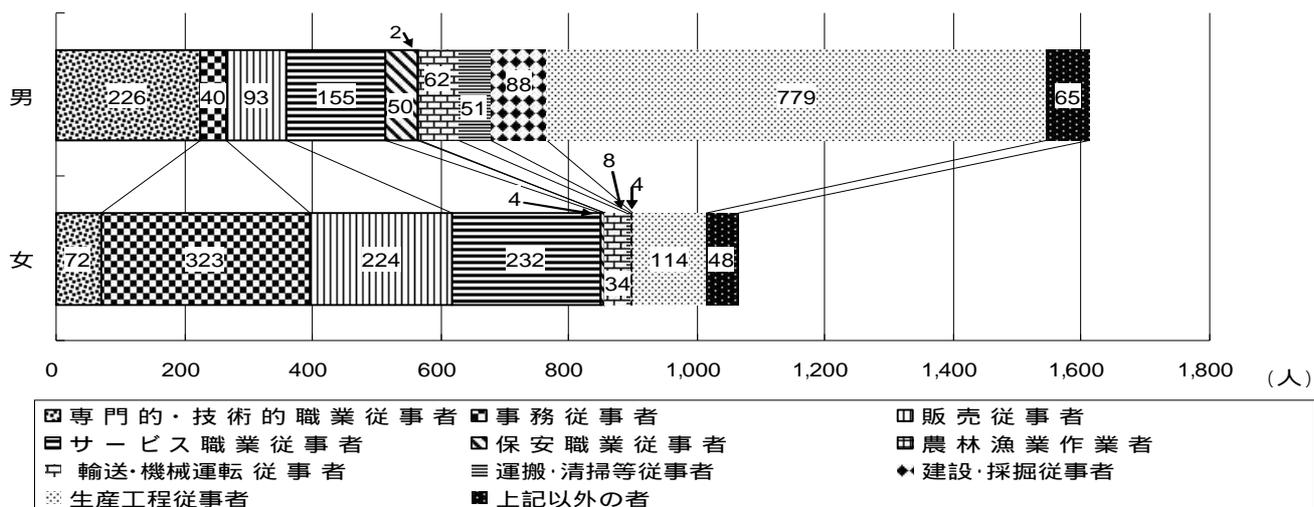
全日制高等学校卒業者の職業別就職者数

(単位:人・%)

職業別	平 成 23 年					
	総 数	男		女		
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	
総 数	2,674	(100.0)	1,611	(100.0)	1,063	(100.0)
専門的・技術的職業従事者	298	(11.1)	226	(14.0)	72	(6.8)
事務従事者	363	(13.6)	40	(2.5)	323	(30.4)
販売従事者	317	(11.9)	93	(5.8)	224	(21.1)
サービス職業従事者	387	(14.5)	155	(9.6)	232	(21.8)
保安職業従事者	54	(2.0)	50	(3.1)	4	(0.4)
農林漁業作業者	2	(0.1)	2	(0.1)	-	(-)
輸送・機械運転従事者	96	(3.6)	62	(3.8)	34	(3.2)
運搬・清掃等従事者	59	(2.2)	51	(3.2)	8	(0.8)
建設・採掘従事者	92	(3.4)	88	(5.5)	4	(0.4)
生産工程従事者	893	(33.4)	779	(48.4)	114	(10.7)
上記以外の者	113	(4.2)	65	(4.0)	48	(4.5)

注 就職進学者及び就職して専修学校・公共職業能力開発施設等に入学した者を含む。

全日制高等学校卒業者の職業別就職者数内訳



全日制高等学校卒業者の産業別就職者数

(単位：人・%)

産業別	平成 23 年					
	総 数	構成比	男		女	
			数	構成比	数	構成比
総 数	2,674	(100.0)	1,611	(100.0)	1,063	(100.0)
農 林 , 漁 業	1	(0.0)	1	(0.1)	-	(-)
鉱 業 , 採石業 , 砂利採取業	-	(-)	-	(-)	-	(-)
建 設 業	217	(8.1)	187	(11.6)	30	(2.8)
製 造 業	993	(37.1)	754	(46.8)	239	(22.5)
電 気 ・ ガス ・ 熱供給 ・ 水道業	30	(1.1)	26	(1.6)	4	(0.4)
情 報 通 信 業	17	(0.6)	6	(0.4)	11	(1.0)
運 輸 業 , 郵 便 業	176	(6.6)	131	(8.1)	45	(4.2)
卸 売 業 , 小 売 業	446	(16.7)	156	(9.7)	290	(27.3)
金 融 業 , 保 険 業	17	(0.6)	1	(0.1)	16	(1.5)
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	14	(0.5)	10	(0.6)	4	(0.4)
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サービス業	22	(0.8)	14	(0.9)	8	(0.8)
宿 泊 業 , 飲 食 サービス業	171	(6.4)	63	(3.9)	108	(10.2)
生 活 関 連 サービス業 , 娯 楽 業	74	(2.8)	38	(2.4)	36	(3.4)
教 育 , 学 習 支 援 業	8	(0.3)	3	(0.2)	5	(0.5)
医 療 , 福 祉	207	(7.7)	28	(1.7)	179	(16.8)
複 合 サービス業	3	(0.1)	2	(0.1)	1	(0.1)
サ ー ビ ス 業	130	(4.9)	100	(6.2)	30	(2.8)
公 務	76	(2.8)	68	(4.2)	8	(0.8)
上 記 以 外	72	(2.7)	23	(1.4)	49	(4.6)

注 就職進学者及び就職して専修学校・公共職業能力開発施設等に入学した者を含む。

(2) 定時制高等学校

進学者(就職進学者を含む)は183人(卒業者数の18.8%)で、前年に比べ9人減少した。

専修学校等入学者は158人(同16.2%)で、前年に比べ2人増加した。

就職者(就職進学者・専修学校等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職した者1人を含む)は259人(同26.6%)で、前年に比べ17人減少した。

就職者の職業別・産業別構成をみると、職業別では「生産工程従事者」が126人(就職者数の48.6%)と最も多く、産業別では「製造業」が85人(同32.8%)と最も多くなっている。

定時制高等学校卒業者の年次別卒業後の状況

(単位:人・%)

区分	総数	進学者	専修学校等入学者		公共職業能力開発施設等入学者	就職者	一時的な仕事についた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
			専修学校	各種学校					
平成19年	953 (100.0)	115 (12.1)	104 (10.9)	7 (0.7)	1 (0.1)	172 (18.0)	198 (20.8)	198 (20.8)	158 (16.6)
20年	935 (100.0)	150 (16.0)	128 (13.7)	17 (1.8)	9 (1.0)	260 (27.8)	186 (19.9)	185 (19.8)	- (-)
21年	805 (100.0)	135 (16.8)	115 (14.3)	7 (0.9)	2 (0.2)	225 (28.0)	181 (22.5)	140 (17.4)	- (-)
22年	989 (100.0)	192 (19.4)	151 (15.3)	5 (0.5)	7 (0.7)	276 (27.9)	186 (18.8)	172 (17.4)	- (-)
23年	975 (100.0)	183 (18.8)	158 (16.2)	- (-)	5 (0.5)	258 (26.5)	210 (21.5)	157 (16.1)	4 (0.4)
男	557 (100.0)	94 (16.9)	86 (15.4)	- (-)	3 (0.5)	180 (32.3)	110 (19.7)	81 (14.5)	3 (0.5)
女	418 (100.0)	89 (21.3)	72 (17.2)	- (-)	2 (0.5)	78 (18.7)	100 (23.9)	76 (18.2)	1 (0.2)

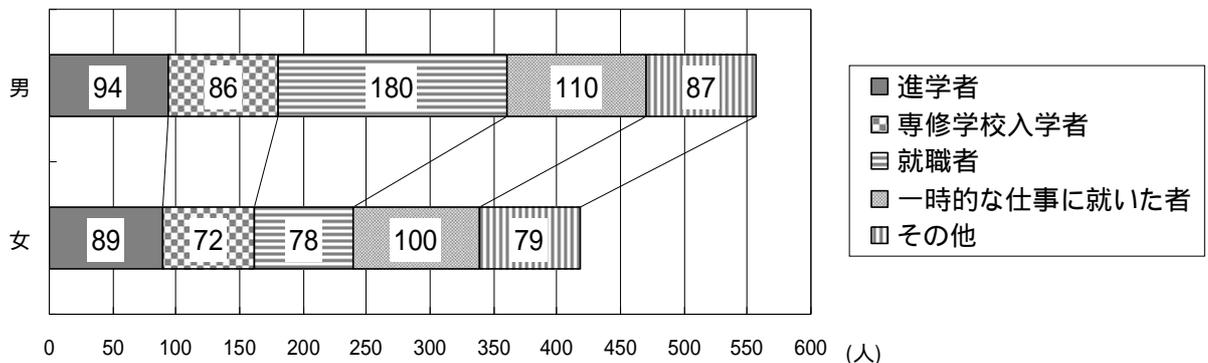
注 1 ()内は構成比(%)を示す。

2 「進学者」は就職して進学した者を含む。

3 「専修学校等入学者」は就職して入学した者を含む。

4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「外国の大学等に入学した者」、「左記に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者」の合計数である。

定時制高等学校卒業者の卒業後の状況内訳



定時制高等学校卒業者の職業別就職者数

(単位：人・%)

職業別	平成 23 年					
	総 数	男		女		
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	
総 数	259	(100.0)	181	(100.0)	78	(100.0)
専門的・技術的職業従事者	20	(7.7)	13	(7.2)	7	(9.0)
事務従事者	11	(4.2)	4	(2.2)	7	(9.0)
販売従事者	32	(12.4)	18	(9.9)	14	(17.9)
サービス職業従事者	43	(16.6)	22	(12.2)	21	(26.9)
保安職業従事者	4	(1.5)	4	(2.2)	-	(-)
農林漁業作業従事者	-	(-)	-	(-)	-	(-)
輸送・機械運転従事者	-	(-)	-	(-)	-	(-)
運搬・清掃等従事者	9	(3.5)	8	(4.4)	1	(1.3)
建設・採掘従事者	4	(1.5)	4	(2.2)	-	(-)
生産工程従事者	126	(48.6)	103	(56.9)	23	(29.5)
上記以外の者	10	(3.9)	5	(2.8)	5	(6.4)

注 就職進学者及び就職して専修学校・公共職業能力開発施設等に入学した者を含む。

定時制高等学校卒業者の産業別就職者数

(単位：人・%)

産業別	平成 23 年					
	総 数	男		女		
		構成比	構成比	構成比	構成比	
総 数	259	(100.0)	181	(100.0)	78	(100.0)
農 林 , 漁 業	-	(-)	-	(-)	-	(-)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	(-)	-	(-)	-	(-)
建 設 業	33	(12.7)	33	(18.2)	-	(-)
製 造 業	85	(32.8)	60	(33.1)	25	(32.1)
電気・ガス・熱供給・水道業	11	(4.2)	10	(5.5)	1	(1.3)
情報通信業	4	(1.5)	3	(1.7)	1	(1.3)
運輸業, 郵便業	10	(3.9)	9	(5.0)	1	(1.3)
卸売業, 小売業	24	(9.3)	12	(6.6)	12	(15.4)
金融業, 保険業	-	(-)	-	(-)	-	(-)
不動産, 物品賃貸業	3	(1.2)	3	(1.7)	-	(-)
学術研究, 専門・技術サービス業	2	(0.8)	2	(1.1)	-	(-)
宿泊業, 飲食サービス業	26	(10.0)	16	(8.8)	10	(12.8)
生活関連サービス業, 娯楽業	11	(4.2)	8	(4.4)	3	(3.8)
教育, 学習支援業	-	(-)	-	(-)	-	(-)
医療, 福祉	23	(8.9)	6	(3.3)	17	(21.8)
複合サービス業	10	(3.9)	7	(3.9)	3	(3.8)
サ ー ビ ス 業	6	(2.3)	6	(3.3)	-	(-)
公 務	3	(1.2)	3	(1.7)	-	(-)
上 記 以 外	8	(3.1)	3	(1.7)	5	(6.4)

注 就職進学者及び就職して専修学校・公共職業能力開発施設等に入学した者を含む。

3 短期大学

平成 23 年 3 月における短期大学の卒業生数は 1823 人で前年に比べ 115 人（前年比 5.9%）減少した。

「進学者」は卒業生の 3.5%（64 人）を占めているが、前年と比べ 1.6 ポイント低下した。「就職者」は卒業生の 76.1%（1387 人）を占めており、前年と比べ 5.9 ポイント上昇した。

就職者の職業別の割合は、「専門的・技術的職業従事者」が就職者数の 63.4%（880 人）と最も多く占めている。

就職者の産業別の割合は、「医療，福祉」が就職者数の 39.8%（552 人）を占め、「教育，学習支援業」が同 24.1%（334 人）などとなっている。

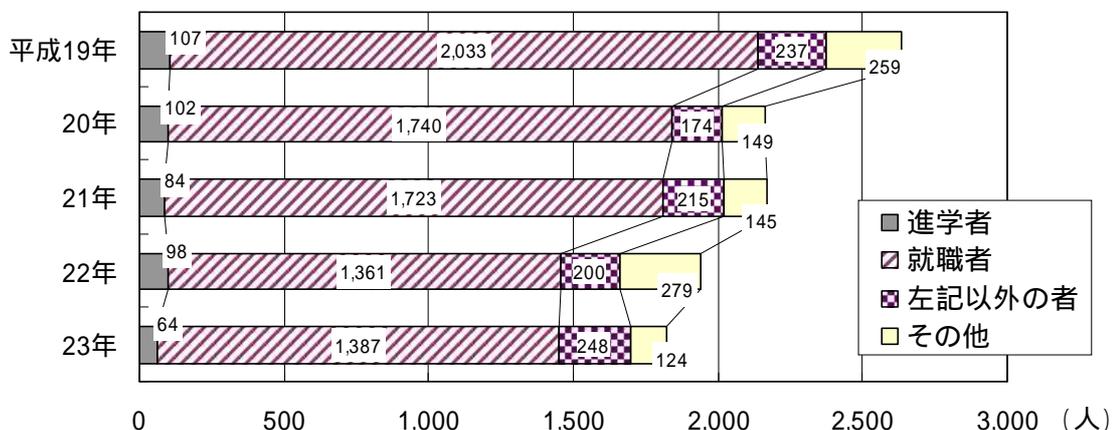
短期大学 年次別卒業後の状況

（単位：人・%）

区分	総数	進路別					
		進学者	就職者	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
平成19年	2,636 (100.0)	107 (4.1)	2,033 (77.1)	60 (2.3)	140 (5.3)	237 (9.0)	59 (2.2)
20年	2,165 (100.0)	102 (4.7)	1,740 (80.4)	36 (1.7)	61 (2.8)	174 (8.0)	52 (2.4)
21年	2,167 (100.0)	84 (3.9)	1,723 (79.5)	27 (1.2)	53 (2.4)	215 (9.9)	65 (3.0)
22年	1,938 (100.0)	98 (5.1)	1,361 (70.2)	28 (1.4)	83 (4.3)	200 (10.3)	168 (8.7)
23年	1,823 (100.0)	64 (3.5)	1,387 (76.1)	28 (1.5)	42 (2.3)	248 (13.6)	54 (3.0)
男	50 (100.0)	7 (14.0)	23 (46.0)	2 (4.0)	- (-)	10 (20.0)	8 (16.0)
女	1,773 (100.0)	57 (3.2)	1,364 (76.9)	26 (1.5)	42 (2.4)	238 (13.4)	46 (2.6)

- 注 1 ()内は構成比(%)を示す。
 2 「進学者」は就職して進学した者を含む。
 3 「就職者」は進学者を除く。
 4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「左記の進学でも就職でもないことが明らかな者」の合計数である。

短期大学 年次別卒業後の状況推移



短期大学 卒業者の職業別就職者数

(単位：人・%)

職業別	平成 23 年					
	総 数		男		女	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
総 数	1,387	(100.0)	23	(100.0)	1,364	(100.0)
専門的・技術的職業従事者	880	(63.4)	15	(65.2)	865	(63.4)
管理的職業従事者	-	(-)	-	(-)	-	(-)
事務従事者	223	(16.1)	3	(13.0)	220	(16.1)
販売従事者	116	(8.4)	-	(-)	116	(8.5)
サービス職業従事者	159	(11.5)	5	(21.7)	154	(11.3)
保安職業従事者	1	(0.1)	-	(-)	1	(0.1)
農林漁業作業者	-	(-)	-	(-)	-	(-)
輸送・機械運転従事者	4	(0.3)	-	(-)	4	(0.3)
運搬・清掃等従事者	2	(0.1)	-	(-)	2	(0.1)
建設・採掘従事者	-	(-)	-	(-)	-	(-)
生産工程従事者	1	(0.1)	-	(-)	1	(0.1)
上記以外の者	1	(0.1)	-	(-)	1	(0.1)

短期大学 卒業者の産業別就職者数

(単位：人・%)

産業別	平成 23 年					
	総数		男		女	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
総 数	1,387	(100.0)	23	(100.0)	1,364	(100.0)
農 林 , 漁 業	1	(0.1)	-	(-)	1	(0.1)
鉱業 , 採石業 , 砂利採取業	-	(-)	-	(-)	-	(-)
建設 業	7	(0.5)	-	(-)	7	(0.5)
製 造 業	51	(3.7)	1	(4.3)	50	(3.7)
電気・ガス・熱供給・水道業	4	(0.3)	-	(-)	4	(0.3)
情 報 通 信 業	10	(0.7)	-	(-)	10	(0.7)
運 輸 業 , 郵 便 業	19	(1.4)	-	(-)	19	(1.4)
卸 売 業 , 小 売 業	160	(11.5)	-	(-)	160	(11.7)
金 融 業 , 保 険 業	35	(2.5)	-	(-)	35	(2.6)
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	10	(0.7)	1	(4.3)	9	(0.7)
学術研究, 専門・技術サービス業	11	(0.8)	-	(-)	11	(0.8)
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	104	(7.5)	4	(17.4)	100	(7.3)
生活関連サービス業, 娯楽業	60	(4.3)	2	(8.7)	58	(4.3)
教 育 , 学 習 支 援 業	334	(24.1)	7	(30.4)	327	(24.0)
医 療 , 福 祉	552	(39.8)	7	(30.4)	545	(40.0)
複 合 サ ー ビ ス 事 業	6	(0.4)	1	(4.3)	5	(0.4)
サ ー ビ ス 業 務	15	(1.1)	-	(-)	15	(1.1)
公 務	5	(0.4)	-	(-)	5	(0.4)
上 記 以 外	3	(0.2)	-	(-)	3	(0.2)

4 大学

(1) 昼間 第1部

平成23年3月における大学の昼間 第1部 卒業者数は5083人で前年に比べ20人(前年比0.4%)減少した。

「進学者」は634人で、前年に比べ72人(同10.2%)減少した。卒業者数に占める「進学者」の割合は12.5%で前年に比べ1.3ポイント低下した。

「就職者(進学者を除く)」は3192人で、前年に比べ121人(同3.9%)増加した。卒業者数に占める「就職者(進学者を除く)」の割合は62.8%で前年に比べ2.6ポイント上昇した。

就職者の職業別の割合は、「専門的・技術的職業従事者」が就職者数の33.9%(1081人)を占めており、次いで、「販売従事者」が就職者数の30.3%(968人)となっている。

就職者の産業別の割合は、「卸売業,小売業」が就職者数の19.0%(608人)を占めており、次いで「製造業」が就職者数の18.3%(584人)などとなっている。

大学 昼間 第1部 年次別卒業後の状況

(単位:人・%)

区分	総数	進学者	就職者	臨床研修医	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
平成19年	4,462 (100.0)	684 (12.6)	3,744 (89.2)	79 (1.5)	62 (1.1)	85 (1.6)	624 (11.5)	136 (2.5)
20年	5,414 (100.0)	503 (11.8)	2,993 (70.1)	75 (1.8)	39 (0.9)	97 (2.3)	369 (8.6)	195 (4.6)
21年	4,271 (100.0)	549 (13.0)	2,802 (66.5)	76 (1.8)	54 (1.3)	73 (1.7)	529 (12.6)	131 (3.1)
22年	5,103 (100.0)	706 (13.8)	3,071 (60.2)	76 (1.5)	99 (1.9)	135 (2.6)	825 (16.1)	191 (3.7)
23年	5,083 (100.0)	634 (12.5)	3,192 (62.8)	70 (1.4)	104 (2.0)	204 (4.0)	752 (14.8)	127 (2.5)
男	3,467 (100.0)	483 (13.9)	2,152 (62.1)	43 (1.2)	78 (2.2)	115 (3.3)	525 (15.1)	71 (2.0)
女	1,616 (100.0)	151 (9.3)	1,040 (64.4)	27 (1.7)	26 (1.6)	89 (5.5)	227 (14.0)	56 (3.5)

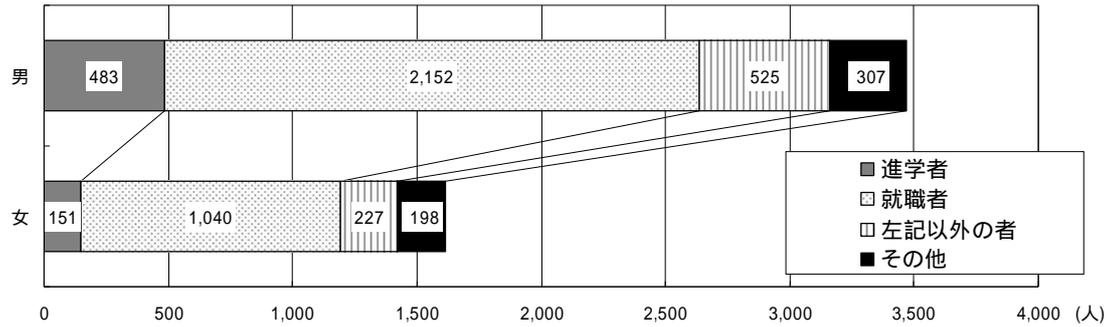
注 1 ()内は構成比(%)を示す。

2 「進学者」は就職して進学した者を含む。

3 「就職者」は進学者を除く。

4 「左記以外の者」とは、「家事手伝いをしている者」、「左記の進学でも就職でもないことが明らかな者」の合計数である。

大学 昼間 第1部 卒業者の卒業後の状況内訳



大学 昼間 第1部 卒業者の職業別就職者数

(単位: 人・%)

職業別	平成 23 年					
	総数	男		女		
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	
総数	3,192	(100.0)	2,152	(100.0)	1,040	(100.0)
専門的・技術的職業従事者	1,081	(33.9)	723	(33.6)	358	(34.4)
管理的職業従事者	10	(0.3)	10	(0.5)	-	(-)
事務従事者	796	(24.9)	402	(18.7)	394	(37.9)
販売従事者	968	(30.3)	780	(36.2)	188	(18.1)
サービス職業従事者	157	(4.9)	95	(4.4)	62	(6.0)
保安職業従事者	45	(1.4)	43	(2.0)	2	(0.2)
農林漁業作業従事者	1	(0.0)	1	(0.0)	-	(-)
輸送・機械運転従事者	10	(0.3)	9	(0.4)	1	(0.1)
運搬・清掃等従事者	13	(0.4)	9	(0.4)	4	(0.4)
建設・採掘従事者	2	(0.1)	2	(0.1)	-	(-)
生産工程従事者	2	(0.1)	1	(0.0)	1	(0.1)
上記以外の者	107	(3.4)	77	(3.6)	30	(2.9)

大学 昼間 第1部 卒業者の産業別就職者数

(単位: 人・%)

産業別	平成 23 年					
	総数	男		女		
		構成比	構成比	構成比	構成比	
総数	3,192	(100.0)	2,152	(100.0)	1,040	(100.0)
農林漁業	2	(0.1)	2	(0.1)	-	(-)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	(-)	-	(-)	-	(-)
建設業	260	(8.1)	211	(9.8)	49	(4.7)
製造業	584	(18.3)	482	(22.4)	102	(9.8)
電気・ガス・熱供給・水道業	16	(0.5)	13	(0.6)	3	(0.3)
情報通信業	121	(3.8)	73	(3.4)	48	(4.6)
運輸業, 郵便業	119	(3.7)	95	(4.4)	24	(2.3)
卸売業, 小売業	608	(19.0)	441	(20.5)	167	(16.1)
金融業, 保険業	300	(9.4)	181	(8.4)	119	(11.4)
不動産業, 物品賃貸業	73	(2.3)	48	(2.2)	25	(2.4)
学術研究, 専門・技術サービス業	120	(3.8)	83	(3.9)	37	(3.6)
宿泊業, 飲食サービス業	54	(1.7)	47	(2.2)	7	(0.7)
生活関連サービス業, 娯楽業	74	(2.3)	45	(2.1)	29	(2.8)
教育, 学習支援業	196	(6.1)	89	(4.1)	107	(10.3)
医療, 福祉	284	(8.9)	92	(4.3)	192	(18.5)
複合サービス事業	45	(1.4)	32	(1.5)	13	(1.3)
サービス	83	(2.6)	66	(3.1)	17	(1.6)
公務	226	(7.1)	132	(6.1)	94	(9.0)
上記以外	27	(0.8)	20	(0.9)	7	(0.7)

(2) 夜間 第2部

平成23年3月における大学の夜間 第2部 卒業者数は371人で前年に比べ99人(前年比21.1%)減少した。

「進学者」は10人で、前年に比べ4人(同28.6%)減少した。卒業者数に占める「進学者」の割合は2.7%で前年に比べ0.3ポイント低下した。

「就職者(進学者を除く)」は218人で、前年に比べ60人(同21.6%)減少した。卒業者数に占める「就職者(進学者を除く)」の割合は58.8%で前年に比べ0.3ポイント低下した。

就職者の職業別の割合をみると、「専門的・技術的職業従事者」が就職者数の42.2%(92人)を占めており、次いで「販売従事者」26.1%(57人)などとなっている。

就職者の産業別の割合でみると、「教育,学習支援業」が就職者数の32.6%(71人)を占めており、次いで「卸売業,小売業」17.9%(39人)、「公務」10.1%(22人)などとなっている。

大学 夜間 第2部 年次別卒業後の状況

(単位:人・%)

区分	総数	進学者	就職者	臨床研修医	専修学校・外国の学校等入学者	一時的な仕事に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
平成19年	924 (100.0)	47 (5.1)	637 (68.9)	- (-)	10 (1.1)	25 (2.7)	200 (21.6)	5 (0.5)
20年	911 (100.0)	54 (5.9)	644 (70.7)	- (-)	3 (0.3)	23 (2.5)	178 (19.5)	9 (1.0)
21年	991 (100.0)	57 (5.8)	650 (65.6)	- (-)	8 (0.8)	9 (0.9)	252 (25.4)	15 (1.5)
22年	470 (100.0)	14 (3.0)	278 (59.1)	- (-)	9 (1.9)	15 (3.2)	154 (32.8)	0 0.0
23年	371 (100.0)	10 (2.7)	218 (58.8)	- (-)	- (-)	12 (3.2)	122 (32.9)	9 (2.4)
男	239 (100.0)	4 (1.7)	143 (59.8)	- (-)	- (-)	8 (3.3)	77 (32.2)	7 (2.9)
女	132 (100.0)	6 (4.5)	75 (56.8)	- (-)	- (-)	4 (3.0)	45 (34.1)	2 (1.5)

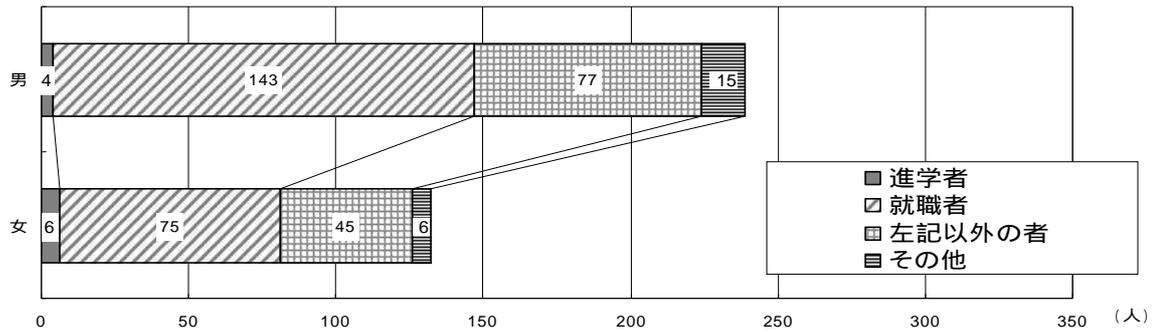
注 1 ()内は構成比(%)を示す。

2 「進学者」は就職して進学した者を含む。

3 「就職者」は進学者を除く。

4 「左記以外の者」とは「家事手伝いをしている者」、「左記の進学でも就職でもないことが明らかなる者」の合計値

大学 夜間 第2部 卒業者の卒業後の状況内訳



大学 夜間 第2部 卒業者の職業別就職者数

(単位:人・%)

職業別	平成23年			
	総数	構成比(%)	男	女
			構成比(%)	構成比(%)
総数	218	(100.0)	143 (100.0)	75 (100.0)
専門的・技術的職業従事者	92	(42.2)	48 (33.6)	44 (58.7)
管理的職業従事者	5	(2.3)	4 (2.8)	1 (-)
事務従事者	48	(22.0)	26 (18.2)	22 (29.3)
販売従事者	57	(26.1)	52 (36.4)	5 (6.7)
サービス職業従事者	7	(3.2)	5 (3.5)	2 (2.7)
保安職業従事者	3	(1.4)	3 (2.1)	- (-)
農林漁業作業	-	(-)	- (-)	- (-)
輸送・機械運転従事者	-	(-)	- (-)	- (-)
運搬・清掃等従事者	-	(-)	- (-)	- (-)
建設・採掘従事者	-	(-)	- (-)	- (-)
生産工程従事者	1	(0.5)	1 (0.7)	- (-)
上記以外の者	5	(2.3)	4 (2.8)	1 (1.3)

大学 夜間 第2部 卒業者の産業別就職者数

(単位:人・%)

産業別	平成23年			
	総数	構成比	男	女
			構成比	構成比
総数	218	(100.0)	143 (100.0)	75 (100.0)
農林漁業	-	(-)	- (-)	- (-)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	(-)	- (-)	- (-)
建設業	13	(6.0)	13 (9.1)	- (-)
製造業	21	(9.6)	20 (14.0)	1 (1.3)
電気・ガス・熱供給・水道業	-	(-)	- (-)	- (-)
情報通信業	12	(5.5)	4 (2.8)	8 (10.7)
運輸業, 郵便業	4	(1.8)	3 (2.1)	1 (1.3)
卸売業, 小売業	39	(17.9)	32 (22.4)	7 (9.3)
金融業, 保険業	6	(2.8)	2 (1.4)	4 (5.3)
不動産業, 物品賃貸業	2	(0.9)	2 (1.4)	- (-)
学術研究, 専門・技術サービス業	7	(3.2)	7 (4.9)	- (-)
宿泊業, 飲食サービス業	4	(1.8)	4 (2.8)	- (-)
生活関連サービス業, 娯楽業	2	(0.9)	1 (0.7)	1 (1.3)
教育, 学習支援業	71	(32.6)	29 (20.3)	42 (56.0)
医療, 福祉	1	(0.5)	1 (0.7)	- (-)
複合サービス事業	-	(-)	- (-)	- (-)
サービス	7	(3.2)	7 (4.9)	- (-)
公務	22	(10.1)	13 (9.1)	9 (12.0)
上記以外	7	(3.2)	5 (3.5)	2 (2.7)